

旧弘前市立病院改修工事基本設計概要

■弘前市立病院・旧第一大成小学校跡地活用基本構想

(1) 整備方針

市立病院の閉院に伴い、近接する旧第一大成小学校跡地と合わせて、一体的な利活用についての検討を進め、市の最優先課題である**市民の健康寿命の延伸に資する機能を集約し、「健康づくりのまちなか拠点」として**中心市街地のにぎわい創出にもつなげる魅力的な空間として整備する方針としました。旧市立病院の建物は貴重な**前川國男建築物**としての価値を後世に引き継ぐため、長寿命化を図り保存活用し、旧第一大成小学校跡地は中心市街地に位置する貴重な外部空間であり日常的な運動や憩いの場、イベント等に活用できる広場等として整備することとしました。

(2) 活用方針

① 住民の健康・医療・福祉の向上に資する施設

子どもから高齢者まで全ての世代が健康で自立して暮らすことができるよう、弘前総合保健センターの機能を軸に、住民の健康・医療・福祉の向上に資する施設とします。

② 多世代の交流を促す施設

食育や運動に関するイベント、地域活動等に利用できる交流センター機能を有する施設とします。

③ 多様な学びの場となる施設

幼児ことばの教室や看護専門学校の生徒だけでなく、高校生や大学生が気軽に訪れ、地域の人と関わりを持ちながら互いに学び合える施設とします。

④ 災害時の避難場所、活動拠点となる施設

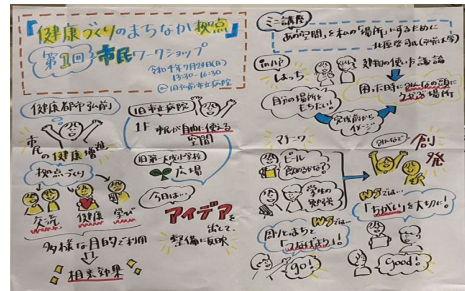
災害時に一時的な避難場所、応援職員の活動場所としても利用できる施設とします。

■アンケートやワークショップの実施

様々な分野で地域活動に取り組んでいる団体へのアンケートや大学生、高校生も交えて幅広い年代の方でワークショップを実施し、機能や活用方法について多くのアイデアや意見を提案いただきました。



旧市立病院を会場としたワークショップの様子



グラフィックレコード

■拠点の目指す機能



■基本設計のポイント

① 健康的な生活習慣につながる施設

健康診査だけでなく、健康相談や簡易なヘルスチェック、トレーニング、健康学習、食育等の健康に関する幅広いサービスを提供する施設を計画します。

② 複合施設が連携して住民を適切なサービスにつなげる施設

健康・医療・福祉など様々な機能が同じ建物に入ることにより密接に連携できる平面計画とし、来訪者に適切なサービスを提供する施設として計画します。

③ 外からも中の様子がわかりやすく、身近で愛着が感じられる施設

中での活動の様子を見えるようにすることで、特定の目的を持った人だけでなく、誰もが気軽に立ち寄れる施設として人々を誘引し、交流を促す計画とします。

④ 周辺のまちや施設ともつながる施設

旧第一大成小学校跡地側をメインエントランスとし、駐車場と直結する東側、JR弘前駅と土手町をつなぐ「えきどてプロムナード」にもつながる南側にもそれぞれ出入口を設置し、周辺のまちや施設との運動性を持たせることで人の回遊を促す計画とします。

⑤ 災害時の避難場所や活動場所となる施設

災害時の住民等の避難場所や職員の災害対応の活動場所として、耐震補強を施し安全性を確保した計画とします。

⑥ 前川建築の特徴を生かして魅力を後世に引き継ぐ施設

コンクリート打放しの外観、1階エントランスホールの吹き抜けなどの特徴を生かして保存活用し、市内8つの前川建築のうちの一つとして、その価値を後世に引き継ぎます。

■改修概要

1978(昭和53)年に増築された本館西側6階部分は解体撤去するほか、既存の内装、非構造部材、各種設備機器、器具、配管配線等をすべて撤去し、新たな用途に応じた配置計画に基づく壁の再配置を行い、内装、電気設備、機械設備、給排水設備等も更新します。

撤去した本館西側6階部分は中心市街地の街並みを一望できる屋上空間として新たに開放します。また、外からも見えやすく入りやすい雰囲気が出るようにし、既存の建物による制限を抑えつつ、利便性が高く使いやすい施設とします。

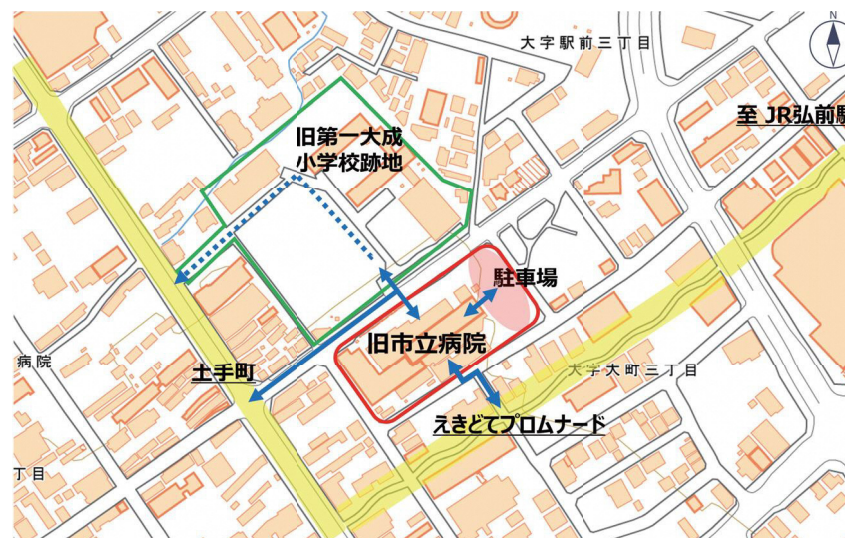
- ・所在地：弘前市大字大町三丁目8番地1、2
- ・建築面積：3,536.81㎡
- ・延床面積：13,167.07㎡
- ・構造：鉄筋コンクリート造、基礎コンクリート杭
(本館6階増築部：鉄骨造〈撤去〉)

- ・棟別規模：
本館・・・地上6階、地下1階、塔屋2階建て
東棟・・・地上6階建て
事務棟・・・地上2階、地下1階建て
手術棟・・・地上5階建て

■動線計画

旧第一大成小学校跡地側をメインエントランスに、東側駐車場、南側からもアプローチを可能として周辺のまちとのつながりのある動線を確保し、一体的な利用を促します。

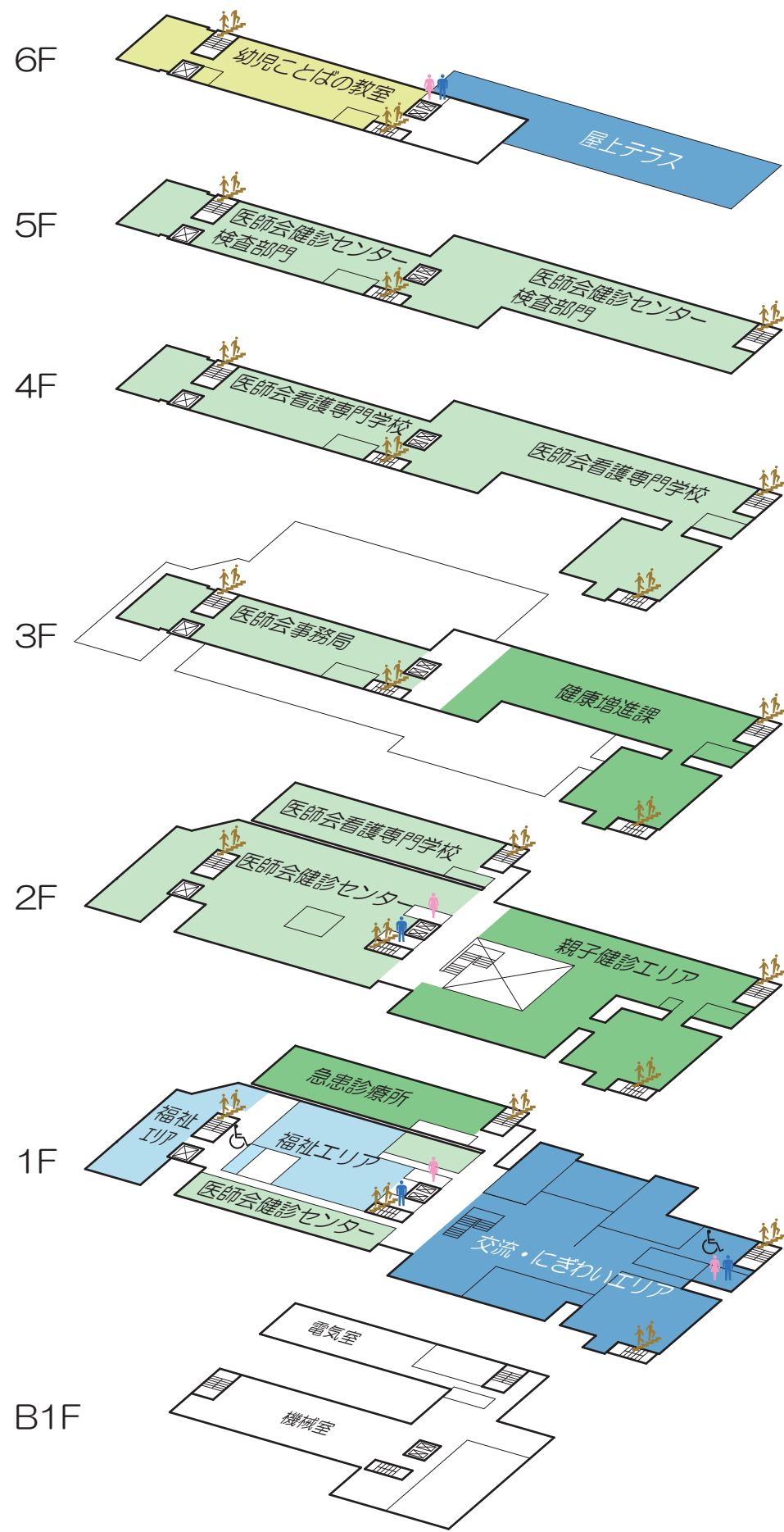
東側を隣接駐車場として急患診療所や障害者生活支援センター等の利用者に配慮した配置とします。



旧弘前市立病院改修工事基本設計概要

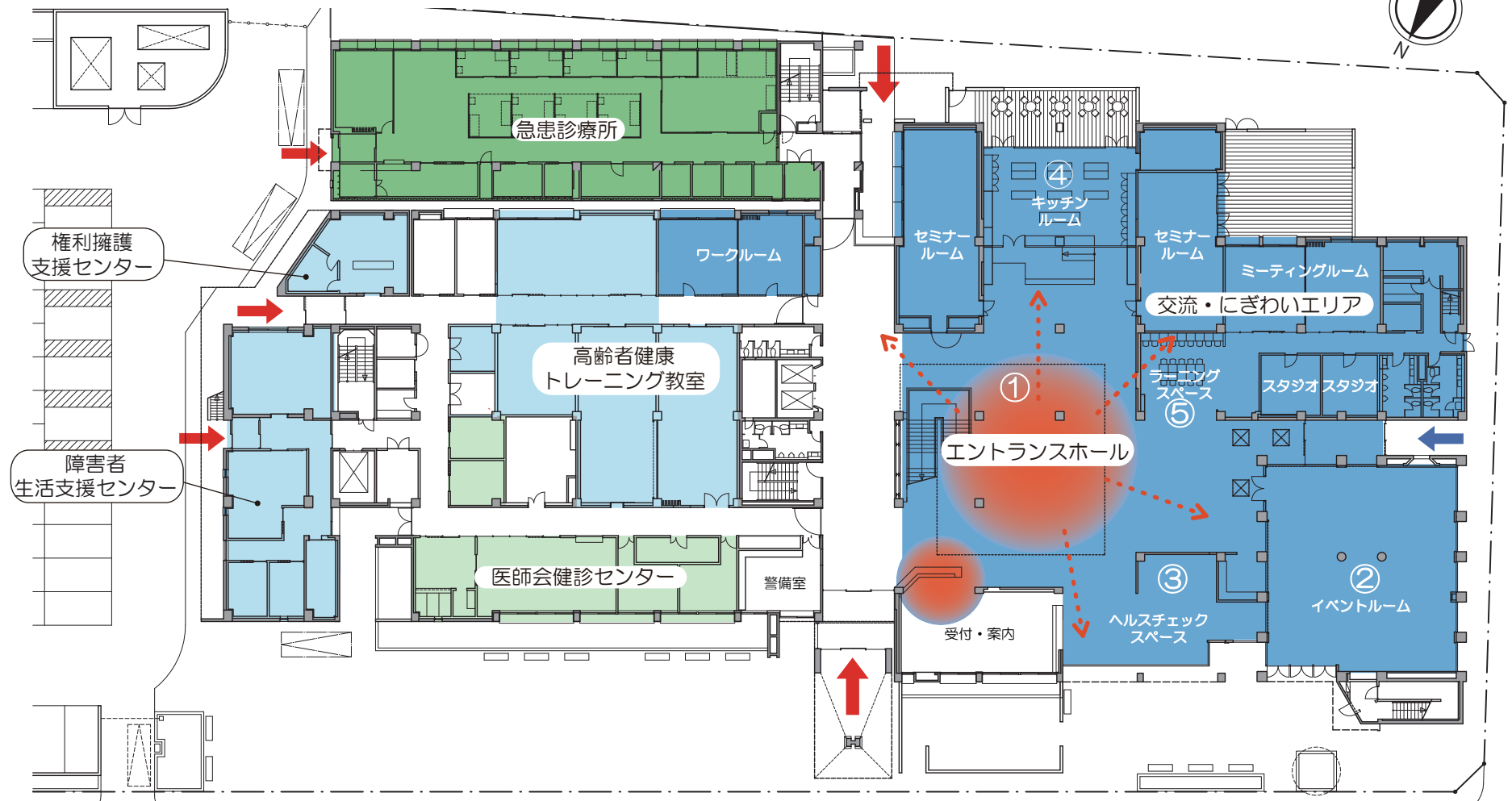
■ 配置計画

子ども、学生、子育て世代、高齢者といったあらゆる世代が利用する施設として、効率的な動線を確認しつつ利用者同士の交流を生み出し、「健康づくりのまちなか拠点」としての館内のにぎわいがそのまま、まちに広がっていく空間づくりを目指します。



■ 1階

開放的な吹き抜け部分をエントランスホール中心として、西側を交流・にぎわいエリアに、東側に福祉機能、南側に急患診療所を配置します。ワークショップなどの市民の意見を取り入れ、交流エリアは施設を訪れる人同士の交流を促すため、キッチンルームやイベントルームはガラス張りにし中の様子を伺えることで、誰もが参加したくなる設えとします。また、気軽に利用できるヘルスチェックスペース、高校生や大学生の学習にも利用できるラーニングスペースを設け、多世代の日常的な利用を促します。



①エントランスホール



②イベントルーム



③ヘルスチェックスペース



④キッチンルーム



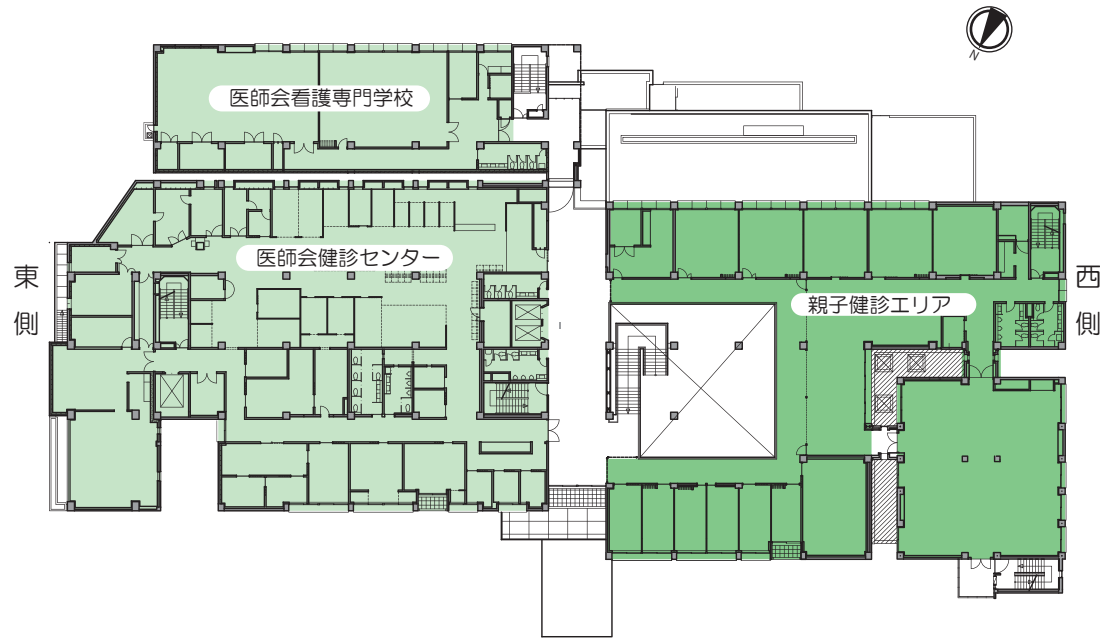
⑤ラーニングスペース



旧弘前市立病院改修工事基本設計概要

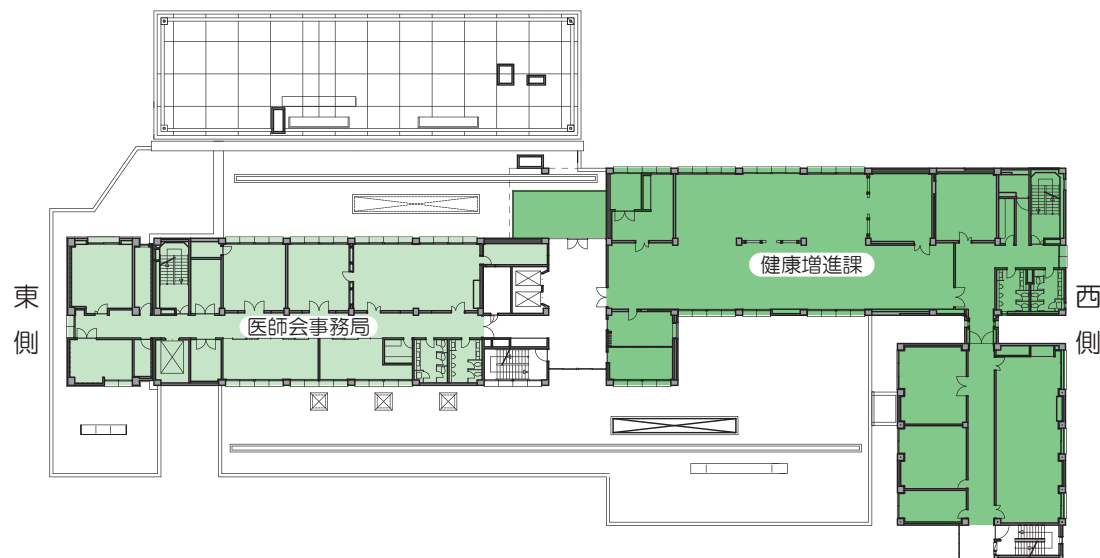
■ 2階

西側は妊産婦健診や乳幼児健診のスペース、東側は人間ドック等が可能な健診センターとします。健診メニューに沿ったスムーズな動線とロビーや待合スペースを広くとることで、混雑の少ない計画とします。



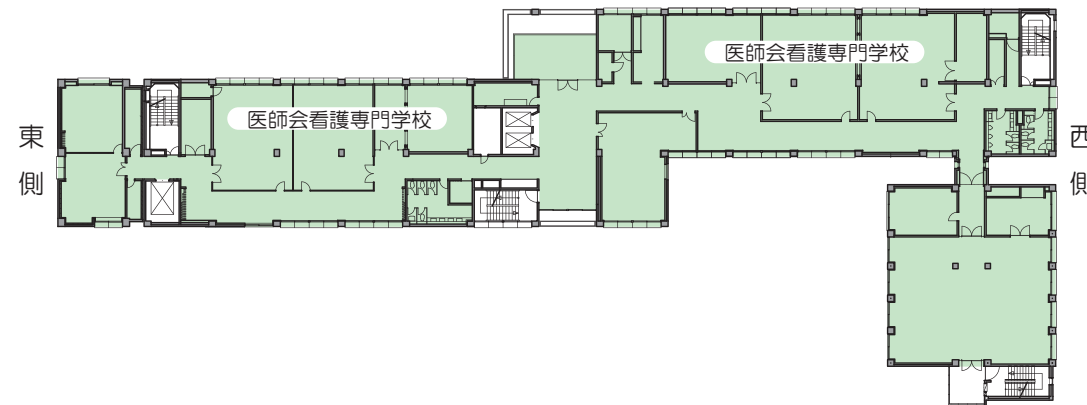
■ 3階

東側に医師会事務局、西側に健康増進課を配置します。快適な事務機能を確保するためOAフロアとし、将来的な配置変更に対応できる計画とします。



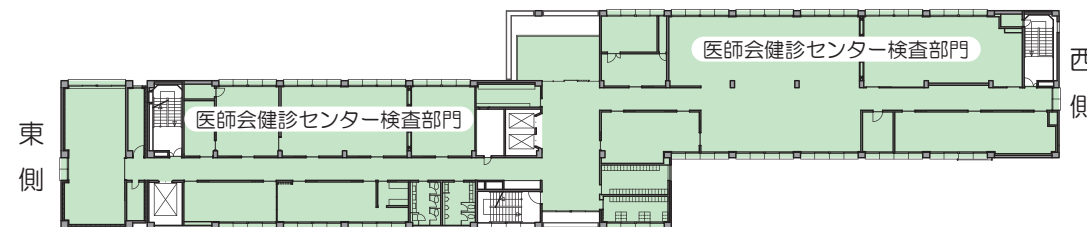
■ 4階

看護専門学校のフロアとし、東側の教室は大教室としても使えるように可動間仕切りを設置し、フレキシブルな計画とします。



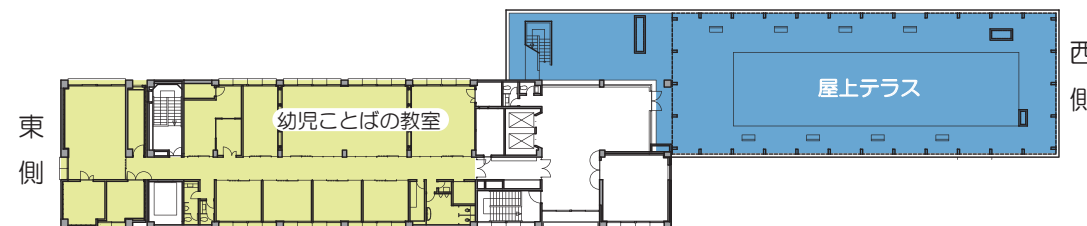
■ 5階

医師会健診センターの検査部門のフロアとします。



■ 6階

東側は幼児ことばの教室とし、見晴らしの良い西側の屋上はテラスとして開放します。



■ 外構計画

外から見えやすく明るくて入りやすい雰囲気づくりを行い、近接する旧第一大成小学校跡地に整備予定の外部空間や周辺施設と一体的な利用を促すようなまちに開かれた施設とします。



■ 設備計画

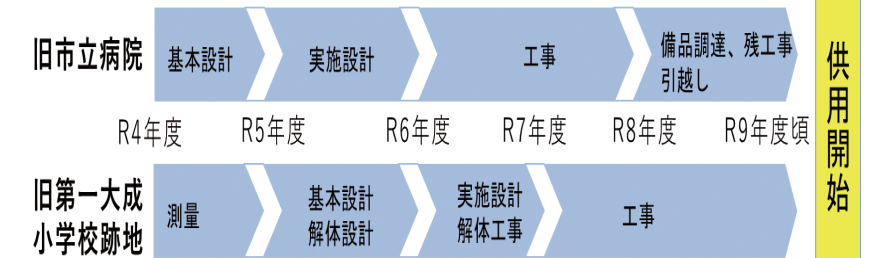
老朽化した既存の設備はすべて撤去し、快適・利便性の確保、省エネ対策、環境負荷の低減、使用者の安全確保、経済性・メンテナンス性、災害対策、避難場所としての対応、周辺環境への配慮を目指した設備計画を実践します。

■ 構造計画

建築年の古い本館と東棟は、新たな用途による使いやすさも考慮しつつ、耐震補強を実施して建物の安全性を確保します。

■ 事業スケジュール

2021 (令和3) 年度	弘前市立病院・旧第一大成小学校跡地活用基本構想の策定
2022 (令和4) 年度	弘前市立病院閉院 旧市立病院改修工事基本設計 旧第一大成小学校跡地測量
2023 (令和5) 年度	旧市立病院改修工事実施設計着手予定 旧第一大成小学校跡地整備基本設計着手予定 建物解体設計着手予定
2024 (令和6) 年度～	旧市立病院改修工事着工予定 旧第一大成小学校跡地整備実施設計着手予定 建物解体工事着工予定
2025 (令和7) 年度～ 2027 (令和9) 年度頃	旧第一大成小学校跡地整備工事着工予定 供用開始予定



■ 概算工事費

約57億～70億円
※概算工事費は令和5年度の実施設計時に、より詳細な設計による積算をします。金額の幅は今後の物価等上昇分の見込みによるものです。